

市立小中学校の2学期制への移行の概要

1. 目的

〇ウィズコロナの中でも学びを確保するため、余裕のある授業時数を確保すること。

〇児童生徒に対し効果的な教育活動を行うため、教員の働き方改革を推進すること。

2. メリットとその効果

(1) ウィズコロナ関連

メリット

始業式や終業式等の儀式的行事の回数を減らし、併せて学校行事の見直しに取り組むことで、授業時数に余裕が生まれます。

効果

今後、臨時休校や分散登校等を実施した場合でも、学習内容を確実に定着させつつ、学校行事を実施できる可能性が高まります。

(2) 働き方改革関連

メリット

学期ごとの通知票の作成回数が1回減るとともに、作成時期が長期休業前の繁忙期から外れることで、教員の働き方改革が進みます。

効果

教員が児童生徒と向き合う時間が確保され、更に長期休業直前まで通常授業を実施することが可能となります。

3. デメリットとその対策

デメリット

夏季休業日前の通知票の配布がなくなるため、学習内容や学校生活の様子を知る機会が減り、夏季休業期間の目標設定や振り返りが難しくなるおそれがあります。

対策

7月中を目途に保護者面談を行い、テストの結果や学校生活の様子をお伝えしますので、その内容を夏季休業期間の計画的な学習習慣の定着や規則正しい生活習慣の確保にご活用いただけます。

4. 移行時期

○令和3年4月1日～

5. 変更点

		移行前（3学期制）	移行後（2学期制）
学期	第1学期	4月1日～ 7月31日	4月1日～10月第2月曜日の前日
	第2学期	8月1日～12月31日	10月第2月曜日～3月31日
	第3学期	1月1日～ 3月31日	
通知票配布回数		学期末ごとの3回	学期末ごとの2回

※原則として、夏季休業日、冬季休業日等は、変更ありません。

6. 各種行事の取扱い

○これまでに実施してきた学校や市の行事を一律に廃止する考えはありません。ただし、各学校に対しては、行事や行事に付随する取組について、必要性や効率性の観点から見直しを進めるよう、促していきます。

7. その他

○小学校6年生と中学校3年生の進学（中高一貫校、中等教育学校、私立中学校、国公立高等学校等の進路選択や入学試験等）に関する事務につきましては、不安のないように万全を尽くしてまいります。